

3 特定健診等に関する市民アンケート調査の結果

特定健診の受診状況や健診に対する意識等を把握し、今後の生活習慣病予防対策に反映させるために、平成 29 年 9 月にアンケート調査を実施しました。

(1) 調査概要

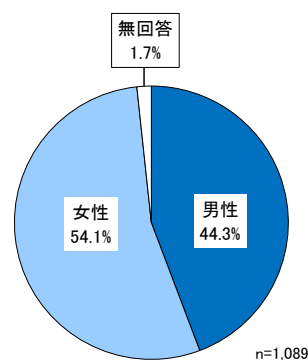
ア 調査地域	広島市全域
イ 調査方法	郵送法
ウ 調査対象	平成 28 年度に特定健診未受診で、かつ平成 29 年度 8 月 1 日現在で受診資格のある市民から 2,000 人を抽出
エ 調査時期	平成 29 年 9 月 20 日～平成 29 年 10 月 13 日
オ 回収状況	有効回収数 1,089 人 (54.5%)

(2) 調査結果

ア 回答者の属性

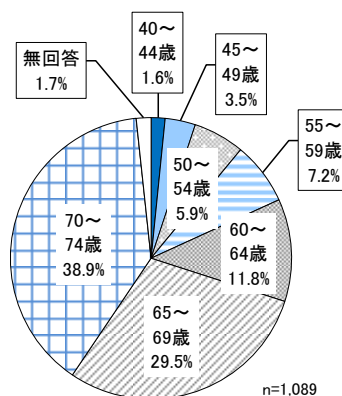
(ア) 性別

	回答数	割合
男性	482	44.3%
女性	589	54.1%
無回答	18	1.7%
回答数	1,089	100.0%



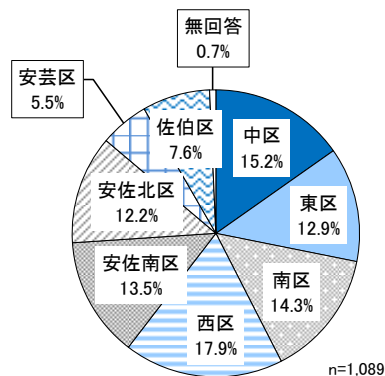
(イ) 年齢

	回答数	割合
40歳～44歳	17	1.6%
45歳～49歳	38	3.5%
50歳～54歳	64	5.9%
55歳～59歳	78	7.2%
60歳～64歳	128	11.8%
65歳～69歳	321	29.5%
70歳～74歳	424	38.9%
無回答	19	1.7%
回答数	1,089	100.0%



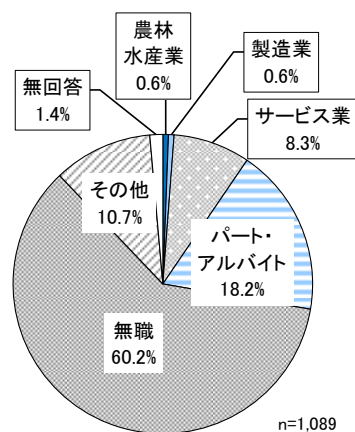
(ウ) 居住地区

	回答数	割合
中区	166	15.2%
東区	141	12.9%
南区	156	14.3%
西区	195	17.9%
安佐南区	147	13.5%
安佐北区	133	12.2%
安芸区	60	5.5%
佐伯区	83	7.6%
無回答	8	0.7%
回答数	1,089	100.0%



(エ) 就業状況

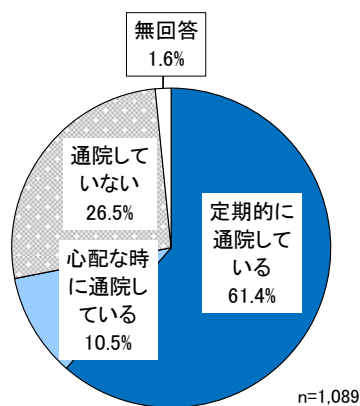
	回答数	割合
農林水産業	7	0.6%
製造業	7	0.6%
サービス業	90	8.3%
パート・アルバイト	198	18.2%
無職	656	60.2%
その他	116	10.7%
無回答	15	1.4%
回答数	1,089	100.0%



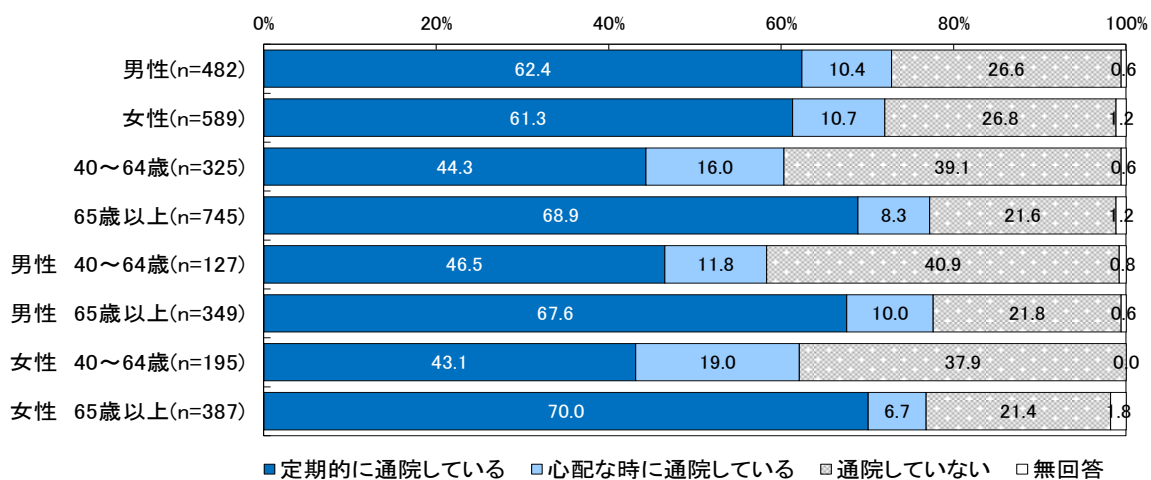
イ 通院状況

通院状況について、「定期的に通院している」と回答した人は 61.4%、「心配な時に通院している」と回答した人は 10.5%、「通院していない」と回答した人が 26.5%でした。約 6 割以上の方が定期的に通院しています。

【通院状況】



性・年齢別にみると、「定期的に通院している」と回答した人の割合は男女ともに 65 歳以上で 40～64 歳よりも高くなっている。



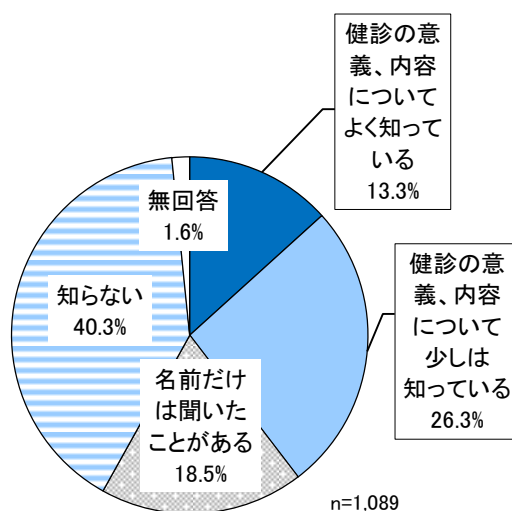
ウ 特定健診の認知度

特定健診の認知度について、『知っている』（「健診の意義、内容についてよく知っている」＋「健診の意義、内容について少しは知っている」）と回答した人の割合が 39.6%、「名前だけは聞いたことがある」と回答した人の割合が 18.5%、「知らない」と回答した人の割合が 40.3%となっています。

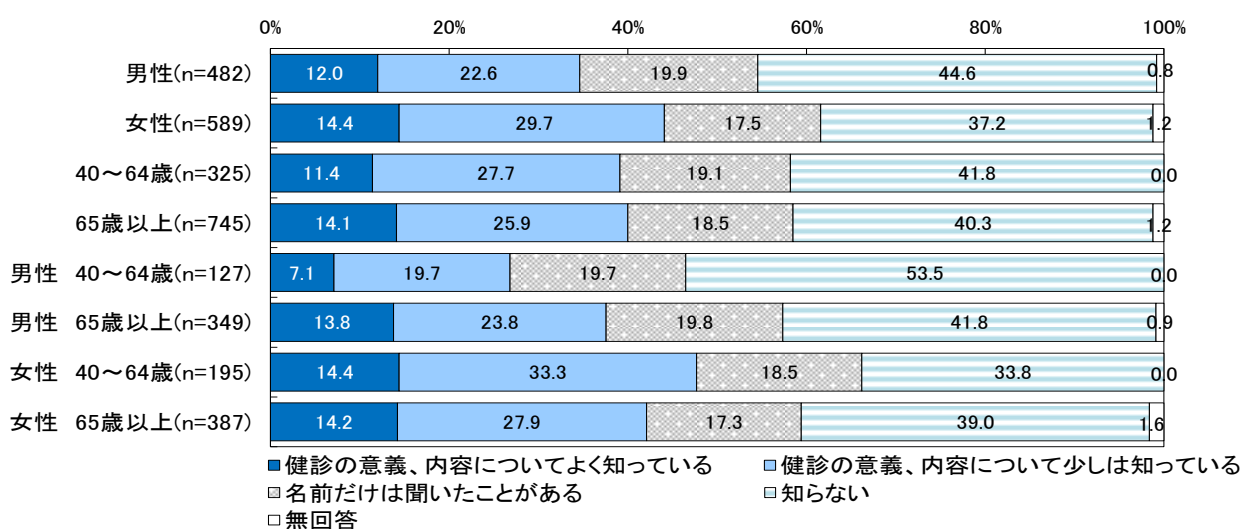
性別にみると、『知っている』と回答した人の割合は女性が男性よりも 9.5 ポイント高くなっています。

性・年齢別にみると、40～64 歳の男性の認知度が低い傾向にあります。逆に、40～64 歳の女性の認知度は他の層よりも高くなっています。

【特定健診の認知度】

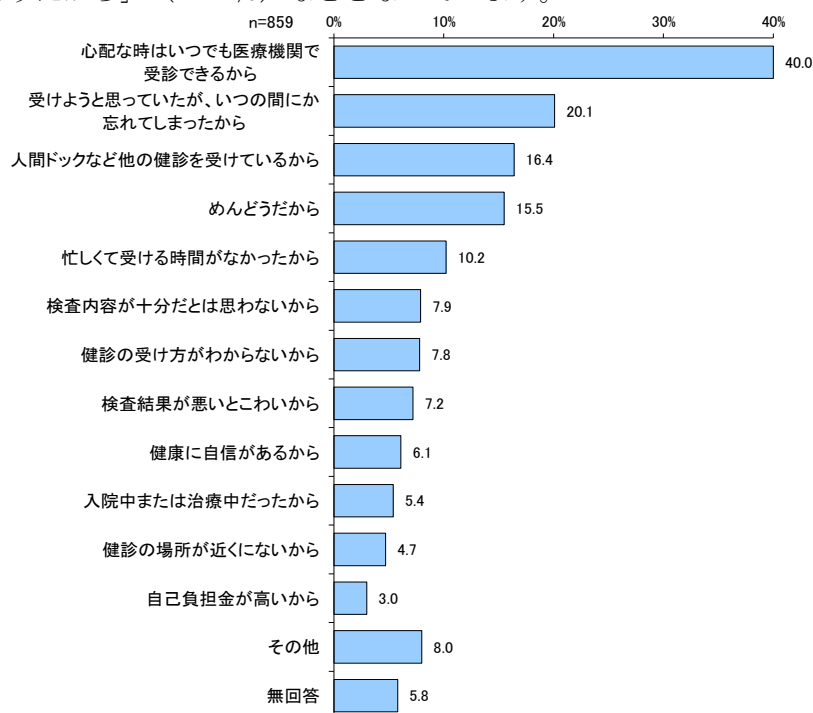


【特定健診の認知度（性別／年齢別／性・年齢別）】



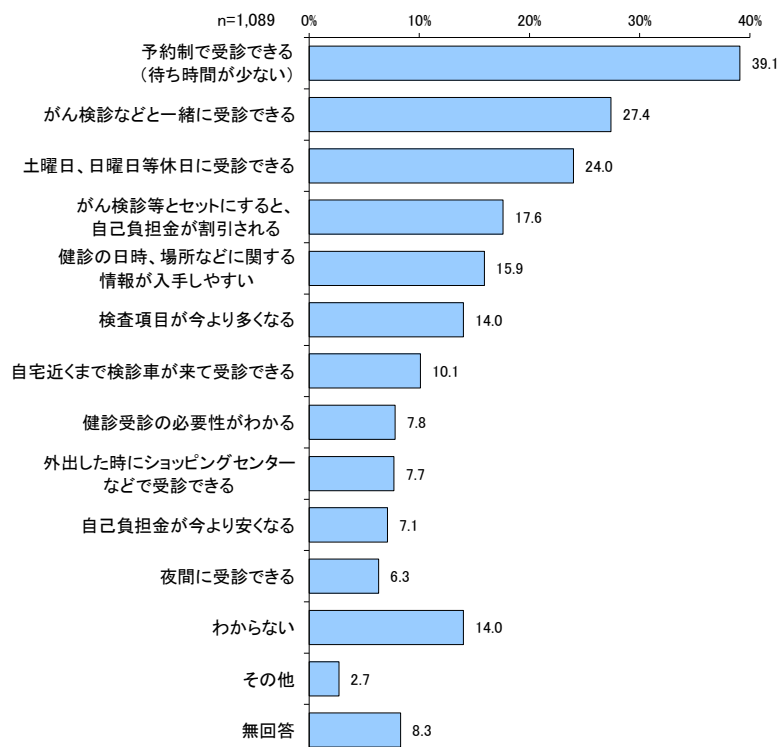
エ 特定健診未受診の理由

特定健診未受診の理由について、「心配な時はいつでも医療機関で受診できるから」と回答した人の割合が40.0%と最も高く、次いで「受けようと思っていたが、いつの間にか忘れてしまったから」(20.1%)、「人間ドックなど他の健診を受けているから」(16.4%)、「めんどうだから」(15.5%) などとなっています。



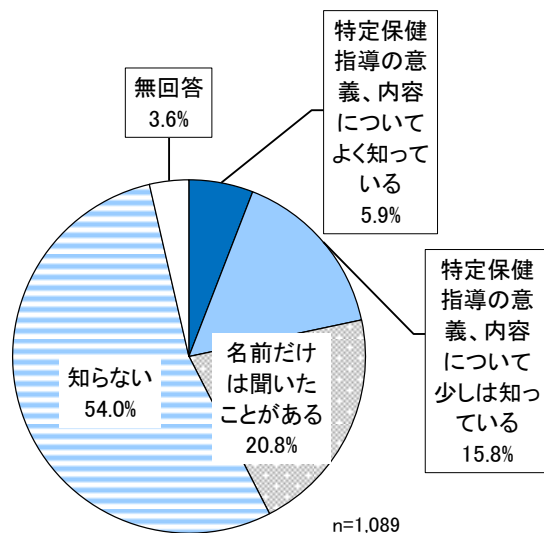
オ 特定健診を受診しやすい環境

特定健診を受診しやすいと思う環境・条件については、「予約制で受診できる（待ち時間が少ない）」と回答した人の割合が39.1%と最も高く、「がん検診などと一緒に受診できる」(27.4%)、「土曜日、日曜日等休日に受診できる」(24.0%)が続いています。



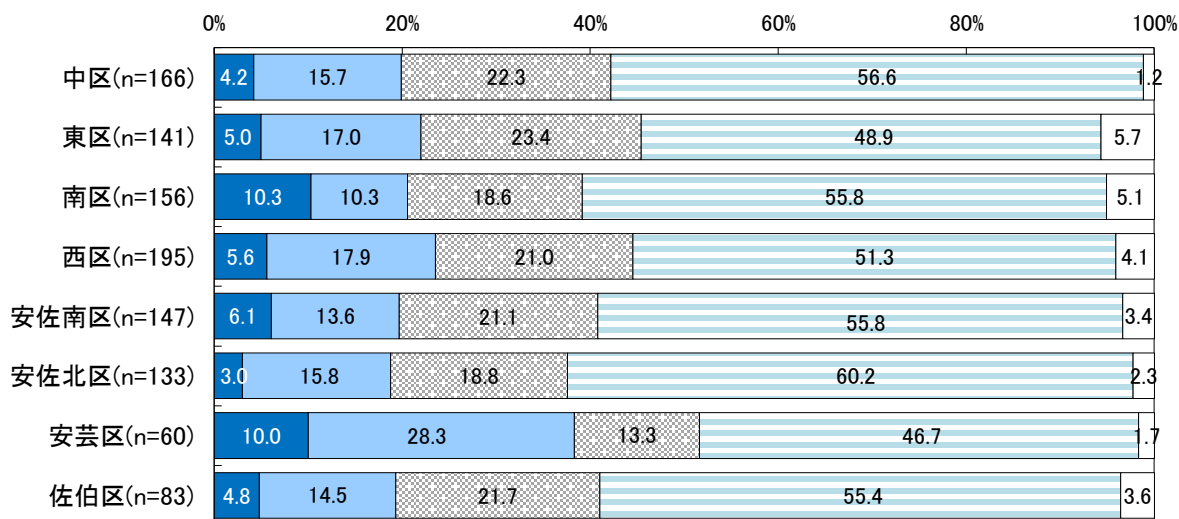
カ 特定保健指導の認知度

特定保健指導の認知度について、『知っている』（「特定保健指導の意義、内容についてよく知っている」＋「特定保健指導の意義、内容について少しは知っている」）と回答した人の割合が 21.7%、「名前だけは聞いたことがある」と回答した人の割合が 20.8%、「知らない」と回答した人の割合が 54.0%となっています。



性・年齢別にみると、「知らない」と回答した人の割合は男性 40～64 歳で他の層よりも高くなっています。

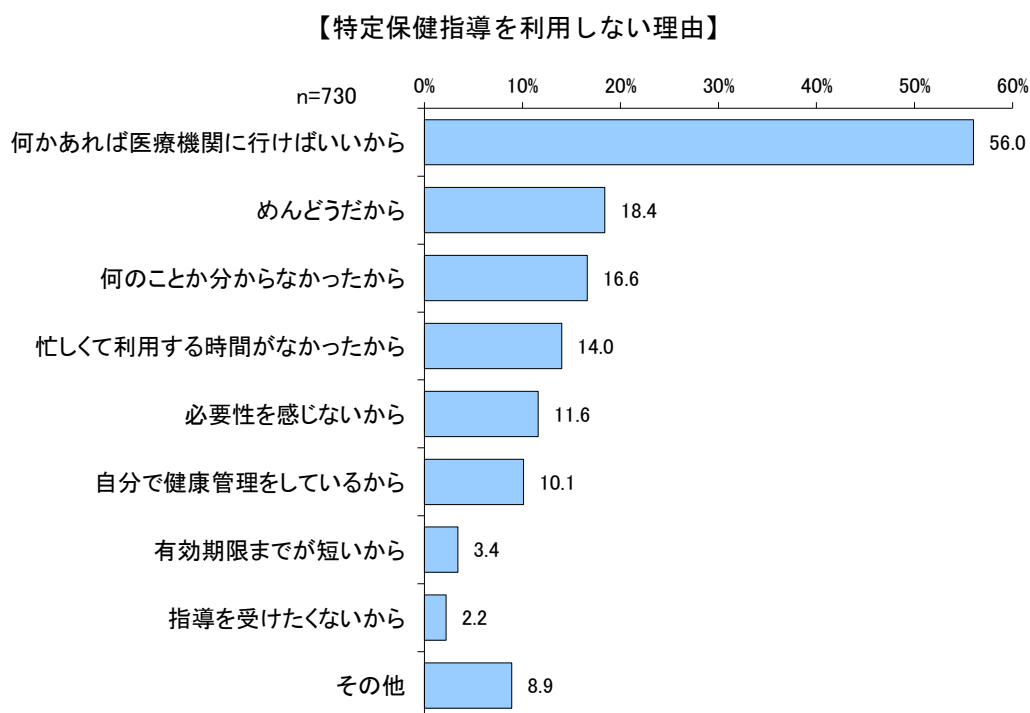
【特定保健指導の認知度（居住地区別）】



- 特定保健指導の意義、内容についてよく知っている
- 特定保健指導の意義、内容について少しは知っている
- 名前だけは聞いたことがある
- 知らない
- 無回答

キ 特定保健指導の未利用の理由

特定保健指導を利用しない理由について、「何かあれば医療機関に行けばいいから」と回答した人の割合が 56.0%と最も高く、「めんどうだから」(18.4%)、「何のことも分からなかったから」(16.6%)、「忙しくて利用する時間がなかったから」(14.0%)が続いています。



4 第2期実施計画の総合評価

第2期実施計画の期間中、特定健診の受診率向上に向け様々な取組を行ってきましたが、受診率は目標値と大きく乖離し、政令指定都市や県内市町で最下位という状況から脱することができませんでした。

また、市民アンケート調査の結果、未受診理由で最も多い回答が「心配な時はいつでも医療機関で受診できるから」であり、生活習慣病を予防するという健診の意義、重要性が市民に十分に周知されていない現状が浮き彫りとなりました。

第3期では、特定健診・特定保健指導の認知度を上げるために、広報の工夫や、関係機関等と連携した重層的な受診勧奨を継続するとともに、市民の予防に対する意識の向上にも取り組む必要があります。